#### 議事(1)

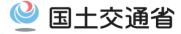
# 前回委員会での主な指摘事項と対応方針について

平成29年12月26日(火)

政策統括官付



# 平成29年度 第1回委員会での主な指摘事項と対応方針



## 1. 持続可能なデータ整備・更新手法の検討について

No.	項目	指摘事項(概要)	対応方針	該当箇所
1	持続可能性 の定義	持続可能性を、高頻度・高精度・高信頼性・低コスト・低労力の5つの視点で定義しているが、全ての視点を網羅することは難しいのではないか。	<ul><li>・各手法について5視点で、現状、課題、対応策を整理した。</li><li>・調査結果や委員会での議論等を踏まえ、課題や対応策を検討する。</li></ul>	•資料3-1
2	収集方法の 実現可能性	情報収集手段として、GPSデータが挙げられているが、GPS以外にWi-Fiの親機で位置情報を収集することも考えられる。	・GPS以外の測位手法等についても検討した。 ・ロードマップでは、準天頂衛星活用による測 位精度向上も踏まえて整理した。	•資料3-1 P.15• 22
3	個人情報 保護	データ収集方法によっては個人情報保護 の問題もあるため、留意が必要。	・プローブ情報は個人情報に該当するため、通 れたマップ実証実験において、個人情報保護 の観点から対応を実施。	•資料3-3
4	ヒアリング先	住民投稿情報について、歩行者移動支援 以外の分野における先行事例にもヒアリン グを実施するとよいのではないか。	・ヒアリングではバリアフリー情報以外にも ユーザー投稿情報を収集しサービス展開して いる民間事業者等にもヒアリング調査を実施 した。	•資料3-1 P.15

### 2. その他

No.	項目	指摘事項(概要)	対応方針	該当箇所
5	データサイ トへのアク セス	データサイトのデータ利用状況を教えて欲 しい。	・データサイトに掲載しているデータの利用状 況(ダウンロード数)を整理した。	•資料1-2 P.3
6	データサイ ト名称	プロジェクト名称決定後にデータサイトの 名称も変更してはどうか。	<ul><li>データサイトにも「バリアフリーナビプロジェクト」の名称を表記した。</li></ul>	•資料1-2 P.2